学校番号	T0106

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「国語表現」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

短文作成からはじめ、説明文、手紙、日常を対象にして作文に取り組む。
様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりする。
文章の推敲の仕方や種種の表現実践に取り組む。

2　学習の到達目標

表現力や思考力を伸ばし、自分の意見を相手に示す能力や言語感覚を磨く

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）		行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	6広告の表現に学ぶ 7話す 8発表する	・コピーの作り方を理解する。 ・スピーチをする時の注意点について理解する。 ・口頭で発表する時の注意点について理解する。	○	○	○		○	a:自分の意見を伝えることに意欲があるか。 b: 自分の考えが聞き手によく伝わるように工夫して話すとともに，相手の伝えたいことを考えながら話を聞いているか。 c: 話したい内容が聞き手によく伝わるよう，話題を適切に選び，構成を考えてメモを作っているか。 e: スピーチのためのメモの作り方や，メモを作ることの大切さを理解しているか。	課題プリント、ノート、定期考査
後期	9討論する 10意見文を書く 11小論文を書く	・討論会の手順と，討論の時に注意する事柄について理解する。 ・筆者の意見に対して自分の考えを持つ方法を理解する。 ・文章の構成の仕方や接続語の活用など，自分の意見を論理的に述べるための工夫を理解する。 ・文章を批判的に検討するための4つの観点について理解する。	○	○	○			a:自分の意見を伝えることに意欲があるか。 b:理由や根拠を明確にして，一文の長さを短くしたり話す順序を工夫したりして話しているか。 c: 論題について，様々な方法で主張の根拠となる事柄を集めて整理・分析し，説得力のある論拠を考えているか。	課題プリント、ノート、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。